

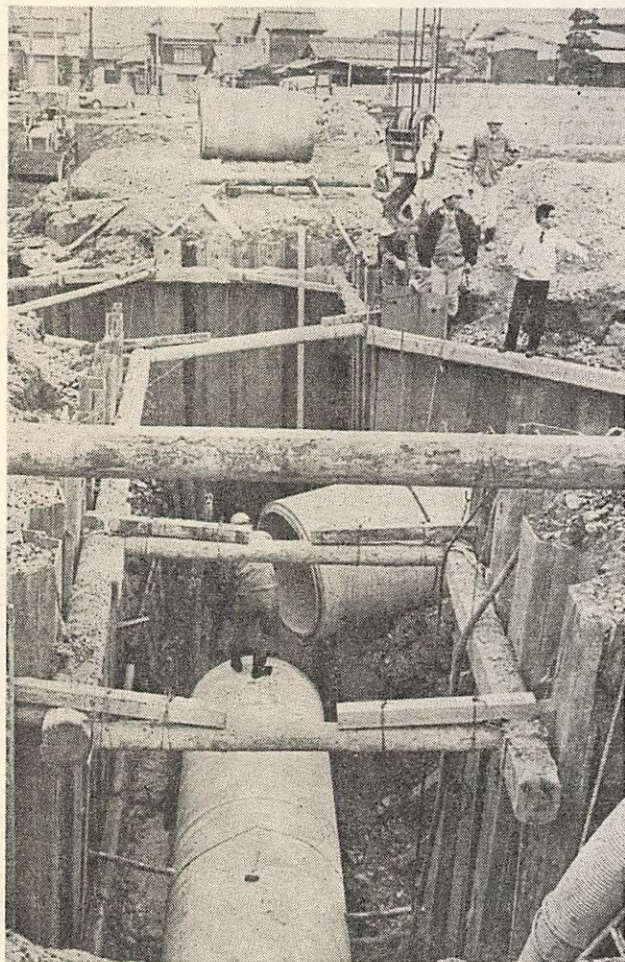
空も川も、きれいな町を！

公共下水道の建設始まる

昨年の二月、市のもっとも大きな事業となる、公共下水道の整備計画が決まりましたが、この第一期工事がこのほど今井町から始まり、下水管が埋設されました。(写真)

今年度の工事は汚水用の山口第一幹線の一部、十二号と雨水用の湯田幹線の一部六十六号で、約四号の深さに直径一・六号から一・八号のコンクリート管が埋設されます。総事業費は千二百五十万円。

山口市の公共下水道の建設計画は総事業費八十億九千八百万円の巨費を投じて、四十八年度から六十年までの十三年間を第一期計画として、市街地の五百五十号で六万二千人を対象として整備するものです。



下水管は汚水と雨水を分ける「分流式」でこれらの総延長は汚水管が十萬三千余号、雨水管が八萬四千余号になります。汚水は二か所の中継ポンプ場から終末処理場(平川)へ標準活性汚濁法で一日、五萬一千立方の処理能力を備えるもので、この第一期工事は昭和五十四年度には一部供用開始の計画です。

公共下水道のない山口市では排出される汚水が市街地を流れる中小河川や樫野川の汚染がすすみ「川」でなく「ドブ川」の様相となっています。きれいな空気と緑と水の住みよい町づくりのための、公共下水道の完備——は発展する山口の基礎となるものともいえます。

いま、加入していただける市民交通災害共済は三月三十一日で期限が切れます。新年度の共済期間は四月一日から一か年です。

三月一日から加入の受け付けをしますから市報といっしょにお配りした、チラシをよくごらんいただき、加入していただけるかたは、引き続き、これまで加入しておられないかたも家族ぐるみで加入しましょう。

年間480円…交通災害共済へ

加入を 掛金は低く、給付は引き上げ

が年間四百八十円と安くなりました。(四十八年度は六百円)。また、死亡共済金五十万円は変わりませんが、療養共済金が、たとえば十日以内は三千元(二千五百円)、八十一日以上は四万円(二万四千元)(カッコ内は四十八年度)というように、引き上げられました。

掛金は安く給付は大きくなったわけです。加入は市役所公害交通課、各出張所ほか、各町内でとりまわっています。

二月二十八日から三月十三日まで全国いっせいに春の火災予防運動が行なわれます。春先きは空気が乾燥し、強い季節風が吹く日が多く火災が発生しやすく、大火になります。

隣りにも声かけあってよい 防火・春の火災予防運動

— 2月28日～3月13日 —

の他三件。原因をみますと、たき火の不注意・不始末がいちばん多く四件、ついでたばこの投げ捨て二件。このほか、土手焼きの不注意、山林火入れの不注意、マッチのすりかすの投げ捨て、煙突の飛び火、子どもの火遊び、電気たつのスイッチの不良、てんぷら油の取り扱い不注意など。隣りにも声かけあってよい防火・慣れた火に新たな注意

いっしょに考えよう

交通安全市民のつどい

— 3月1日・市民会館 —

「交通安全市民のつどい」が、次のように開かれます。市民みんなが力を合わせて、交通事故による悲劇をなくしてゆこうというものです。

山口市では、ことしになって早くも5人のかたが交通事故によって亡くなりました。(2月5日現在)。ひとりでも多くの市民のかたがたが参加して、いっしょに、交通安全について考えてください。

- ・日時 3月1日 13,00~16,00
- ・場所 市民会館小ホール
- ・主催 山口市交通安全運動推進協議会・山口市
- ・おもな内容 交通事故の現況説明。「交通安全に対する私の主張」と討議。主張は教師、母親、お年より、こども、運転者、身障者、交通指導員それぞれの立場から行なわれます。会議のあと市中パレードを行ないます。(雨天の場合は映画)

マイカーの自粛を

石油の供給削減にともない、自動車の使用の自粛や、効率のいい利用のためにおたがいに次のようなことに心がけてください。

- ・マイカーのレジャー利用の自粛、とくに休日においての高速道路への乗り入れの自粛。
- ・マイカーによる通勤の自粛。
- ・鉄道、バス等の大量輸送機関の利用
- ・貨物の輸送等の合理化。
- ・経済速度による走行の励行。



暖かい心の通った

あいさつ運動

佐山地区

「対話の場」で「心」の豊かさを

それが「買物」の場であっても
他人への思いやりと関心があれば
「対話の場」となる。

山陽本線と宇部線沿いにひろがるなだらかな丘陵地帯—
山口市西部の佐山地区。
「山口たくあん」のふるさとでも大型レジャー基地の進出やベッドタウン化で、都市化の波にあらわれ地区の連帯感も薄らぎ「突き当たっても物を言わん」ような傾向が見え出した。

「暖かい心の通ったあいさつ運動」—は、おはよう、こんにちは、といった日常のあいさつだけでなく、各種グループ活動など、地区民の「出会い」と「対話の話」を積極的に作って、ここに住む者同士が、おたがいに関心と思いやりの心を深めてゆこう—というものです。

この運動のきっかけとなったのは、佐山小児童と地区民

物不足に「狂騰物価」。こうなると「自分のことしか、かまっちゃあおれない」といった気分がギスギスと、世の中ますます住みにくくなる感じ—。いま、佐山地区ですすめられている「暖かい心の通ったあいさつ運動」—ここに、いま求められる「物」から「心」の豊かさが…。

Aさんの次のような交流によるものです。

通学路のそばに住むAさんのところに、数年前のある日子どもたちが「草花のきれいなのがあったので、おじさんの庭に植えさせてください」といつてきた。Aさんは「それでは私も水かけを手伝おう」ということになった。

子どもたちも草取りなどに立ち寄り「おじさんこんにちはお元気でですか」とAさんとすつかり仲よしになった。

公民館運営審議会で、Aさんの話を聞いて、みんなはすつかり感激。「このAさんと子どもたちが交わすあいさつこそ、心の通い合った思いやりのあるあいさつではないか」ということになり、昨年秋の第一回公民館まつりをき

Mさんは見た。きれいな、海と浜辺を…



ブカブカと流れ、流れて、やがて海へ…

渚なみさきにて
ことしの元日。
秋穂二島住人のMさん。
抜けるような青い空と暖かい日差しにさわられて、ぶらりと美濃が浜にやってきました。

Mさん。そこに、久しぶりに「きれいな海と浜辺を見た。人影もなく船影もなく、Mさんひとり浜辺に寝そべれば、ウツラウツラと夢心地…。少年の日のあのヤシの実でも流れ来そうなロマンチックな浜辺がよみがえる。

白砂青松。松の根っ子にはえた松露まけら(きのこ)を探

り、白い浜辺を駆けていった少年の日のよるこびが、浜辺に打ち寄せるポリ容器の山が減ったのは「モノ不足」によるものか？モノが減って海がよみがえる！ Mさん。幾年ぶりに見せた、ふるさとの母なる海の素顔に感動した。

錦川にて
左の写真。ポイと測溝に捨てられたゴミが、あちこちから集まって錦川へ。いくつかの小河川のゴミが楢野川へ。そしてブカブカと海へ。Mさんの感動、元旦の白昼夢に終わるのか！。

っかけに、これからの地域活動の「憲章」として取り組んでゆくことにしました。

まず、公民館の各種グループ活動や、子ども会、婦人会、青年団、老人クラブなどで積極的に「対話の場」をつくることもに日常のあいさつにも、「おはよう。この間まいた種はもう芽が出たかね」といったように、他人への思いやりと関心を示してゆくことにしています。

**固定資産税台帳
縦覧期を延期**

固定資産税台帳は、毎年三月一日から同二十日まで縦覧に供することになっていますが、事務手続きの都合により昭和四十九年度に限り、四月に行なう予定です。



盛会だった突破大会

「モノ不足」に「狂騰物価」で市民は悲鳴をあげていますが物を作り、売る立場の市内の中小企業者による「経済危機突破中小企業者大会」が山口商工会議所の主催で開催されました。

商業モラルの確立を 経済危機突破中小企業者大会開く

大会には、市内の中小企業者約百五十人が参加、クリーニング、旅館、印刷工業、土木建築、木材建築材料、運輸交通、土産品、家庭電器、衣料、電気工事業者の代表から意見発表がなされ、助言者として参加した県、市、金融関係者を交えて熱心

に討議を重ねました。とくに、金融措置、原材料の確保、賃金引き上げにともなう労務対策などを中心に業者の「苦境」が述べられました。大会決議として次のことを決めました。

- 1 商業モラルの確立と政治姿勢の是正
- 2 大企業の一方的な便乗値上げの締め出し
- 3 倒産防止のための緊急融資
- 4 金利の便乗値上げ絶対反対

し尿の汲み取り料金を改定

一荷百六十円に・二月二十日から

二月二十日からし尿の汲み取り料金が改定されます。

最近の燃料等を含めた諸物価の高騰、人件費の増加にともない、業者から改定の要望が出ておりましたが、市民生活に直接影響のある料金のため、市としても再三にわたって協議を重ねた結果、次のように改定することになりました。

・改定料金 三十六円（一荷）

つき百六十円。ただしホースの長さが四十メートルをこえて六十メートルまでは百円、六十メートルを超えるものは二百円を加算。
●実施日 二月二十日
なお、領収書は必ず受け取るようにしてください。また料金が適正でないと思われるときは業者（山口衛生事務所・電話二一五三七、山口公衆衛生協会電話二一七四六）へ電話を。

やまびこ学級 若草学級 —入級者を募集—

留守家庭児童のための、やまびこ学級（湯田温泉5丁目、児童文化センター）、若草学級（下野小路、福祉センター）の入級者を募集します。

- 受け付け 2月20日～2月28日
- 募集人員
やまびこ学級 23名
若草学級 15名
- 対象 両親が共ばたらきの家庭または母子、父子家庭で4月から1年生になる児童
- 内容 下校後から午後5時まで室内や前庭で担当者が遊びや生活指導にあたります。
- 育成料 750円（月額）
- 申し込み 福祉センターに備えつけの申し込み書で申し込みください。問い合わせは☎7121へ。
なお、定員超過の場合は入級審査会で決定します。

所得税の確定申告
2月16日～3月15日
くわしいことは2月1日号をごらんください。

にせ税理士にご注意!!
税理士の資格がないのに、税務の代理や税務書類の作成、税務相談などを継続して行っているものをいいます。税務署では確定申告期間を「にせ税理士を排除する月間」として、違法行為をしないよう呼びかけています。一般の納税者もご注意ください。

同和問題を考える

問 同和地区には、はっきり言って低位性があります。これが向上しない限り、教育といっても駄目のような気がします。

答 まず、その低位性はどこから生まれたかというのを考えましょう。つまり、差別がその生みの親であるということです。しかし、低位性がまた差別につながるという点も事実です。

ところで、低位性の問題だけを取りあげると、スラム街の低位性とか、わりないことになりません。スラム街は貧しさのために世間から嫌がられているだけですが、同和地区は、江戸幕藩体制によって意識的に作られた因習的な別のものでした。

だから、低位性が解消されても「改善された部落」という差別が残る、向上した部落民」という差別が残るのです。だから教育によってその因習を取り除くよう努力しなければならぬのです。

問 同和地区の多くは貧困だと言われています。この原因を除かない限り、問題は解決しないと思うのですが。

答 むつかしい問題です。ある人はすぐに階級の問題に持ってゆき、無産階級が解放されない限り、差別はなくなりないと主張します。無産階級が解放されない限り、差別はなくなり、階級はなくなり、階級が正しいにしてもそれは明日の問題、将来の問題で、いまを生きている私たちの今日の問題、現在の問題として受けとめられないのです。たしかに貧困は差別の大きな要素にはなっていますが、その全体ではありません。

現在、私たちは資本主義、修正資本主義の中で生きています。その私たちのうちには短かくて、しかもただ一度のいのちの短かい、ただ一度のいのちを生きている私たちが、現在、たぐいまれの問題として、差別がなくなることを期待し、そのことによって人権が本当に大事にされるように、同和教育を行なわねばならないのです。

- ### 中小企業者に緊急対策資金
- 融資の対象 原材料等の不足や高騰で経営が著しく困難となった中小企業者（組合）の運転資金
 - 融資限度 五百万円（特認者は八百万円以内）
 - 融資期間 六か月以内
 - 利率 年七・五%
 - 保証料率 年〇・八%
 - 資金使途 運転資金
 - 受け付け期間と申し込み先 三月三十日まで、山口県信用保証協会
- ### 消費者問題シンポジウム
- テーマ あすのくらしをひらく
 - 日時 三月一日（日）〇・三〇
 - 会場 市民会館大ホール
 - 内容 花原二郎（法政大学）
稲葉三千男（東京大学）、柳沢文徳（東京医科歯科大学）
吉田勉（立川短期大学）各教授の講演があります。
- 全員に昼食を差しあげます。

低位性に問題が

おかあさんのための同和教育 (4)

この短かい、ただ一度のいのちを生きている私たちが、現在、たぐいまれの問題として、差別がなくなることを期待し、そのことによって人権が本当に大事にされるように、同和教育を行なわねばならないのです。

背すじがのびる

—バドミントン教室—

- ・日時 2月28日, 3月7日, 14日, 21日, 28日の5日間。17時30分～20時30分。
- ・会場 山口県体育館
- ・対象 一般市民(初心者, 親子参加(小学生は5年以上)歓迎)。
- ・申し込み 2月25日までに市教育委員会体育課(中市町2-10)へ, 住所, 氏名, 性別, 年齢を記入して申し込むこと。
- ・参加上の注意 シャトルコック代100円, 上ばき, ラケットを持参。(ラケットは多少主催者で準備)

■岡田昌大リサイタル 2月23日, 6時30分開演, 市民会館大ホール, 入場料800円(学生500円)。

■山口県広報大会 2月19, 20日, 市民会館小ホール。19日は10時開会。10時30分から講演・「情報化社会における広報の実際」(電通PRセンター企画調整局長加藤三郎氏), 13時30分から同「最近の国際情勢」(京都大学教授高坂正堯氏) 20日は9時から講演・「ぶどうの町の広報紙づくり」(山梨県勝沼町総務課三森一雄氏), 10時から「広報紙レイアウトの実際」の相互研修。

■うれしいたより■

「二島の〴おとうさんの味」

1月27日に行なわれた, 山口市駅伝大会。たくさんチームが参加して大盛況でしたが, この大会に参加した川東代表の選手に, 炊き出しのサービスをしたのが, 二島「お父さんの会」会長の落合満さんと福井諒さん。マキでたいごはんでバラズンを作ってふるまったということです。おふくろさんならず, 〴おとうさんの味に選手一同, 大いに感激したということです。

「愛のランドセル」

市内道場門前, 森脇茂さんから市社協善意銀行にランドセル12個が預託されました。さっそく今春入学する生活保護家庭の児童に贈りました。森脇さんは昭和37年から, 毎年ランドセルのプレゼントを続けておられます。

「事務費が余った…どうぞ」

労災保険事務組合・七色会(世話人吉安為熊さん, 中市町)から, 「組合の事務費が余ったので勤労者の福祉事業に使ってほしい」と, 1万5千円が市商工課に贈られました。商工課では, 勤労青少年のスポーツ大会などのときに, 有意義に使いたいといっています。

おしらせ

県の公害センターが完成・朝田

大気、土壌の汚染や、水質の汚濁、騒音、振動、地盤沈下、悪臭……と「七公害」の監視や調査試験等を行なう、県公害センターが朝田に完成しました。一階のテレメーター室は県内主要工業地帯を中心に県境の大竹市を含む四十局の観測局を網らして、オキシダントやいおう酸化物など大気汚染の常時監視ができます。二階は水質部、三階は大気部で蛍光X線分析装置など最新の測定器を整備。



計量器の定期検査をします

はかりを取り引き, または, 証明に使用するかたは, 毎年1回県が行なう計量器定期検査, または定期検査に代わる計量士による検査を受けなければなりません。

ことしは, 次の日程で実施しますから該当者はもれなく受験してください。なお, 当日印鑑と手数料をご持参ください。

県が登録した定期検査に代わる計量士は次

のかたです。

■山口市上金古首95 阿武経明さん。

買物をするときは, 「はかり」の定期検査を受けているか。水平にすえてあるか(水平器がついているか)。指針が0点を示しているか。目方に風袋の重さが含まれていないか……などよく注意して量目不足の〴高い買物をしないようにしましょう。

日 程

期 日	時 間	検 査 場 所
3月11日	月 10:00~12:00 13:00~15:00	小鯖出張所 大内出張所
12日	火 10:00~12:00 13:00~15:00	仁保出張所 宮野出張所
13日	水 10:00~12:00 13:00~15:00	平川出張所 大歳出張所
14日	木 10:00~12:00 13:00~15:00	陶 出張所 鋳銭司出張所
15日	金 10:00~12:00 13:00~15:00	市農協名田島支所 二島出張所
16日	土 10:00~14:00	嘉川出張所
18日	月 10:00~11:30 13:00~14:30	佐山出張所 吉敷出張所
19日	火 10:00~15:00	県教育会館(中河原)
20日	水 10:00~15:00	竜泉寺(前町)
22日	金 10:00~15:00	市民会館北側入口
23日	土 10:00~12:00	市福祉センター(下堅小路)

※「光電はかり」の検査については, 電源の都合で3月22日(金)市民会館北側入口で検査します

南部地区のみなさん!!

火事・救急の連絡は—

南部地区は, 電々公社の加入電話の自動化により局番も四辻局, 小郡局と異なっており, 火災・救急の119番も, またその設置場所もちがいますから, 119番をかけられるときは次のことを守ってください。

■火事の際の連絡は—

- ・四辻局の加入電話は局番なしの119番で, 市役所鋳銭司出張所へ。(出張所に119番が入っています)。
- ・小郡局の加入電話は, 普通電話でそれぞれの市役所出張所へ。(小郡町役場ではありません)

■救急の際の連絡は—

- ・四辻局は119番で鋳銭司出張所へ(出張所から小郡町役場に連絡します)。
- ・小郡局の加入電話は局番なしの119番で小郡町役場へ。

—通報は…落ちついて, はっきりと要領よく—

—中央公民館の講座—

受講希望者は申し込みください。(いずれも申し込み順, 一般市民)。くわしいことは同公民館(中央2丁目5-1, 電0381)へ。

■くらしの経済講座 2月24日, 3月10日, 24日の3回シリーズ。(いずれも10時~12時), 講師は経済評論家宇治田勝己氏, 受講料無料, 2月22日までに申し込み。

■民法入門講座 3月2日, 16日, 以後11月まで毎月第1土曜日の午後(いずれも13時30分~16時), 主任講師・山大経済学部助教授馬渡淳一郎氏, 受講料無料, ただし運営費300円(全期間)ほか, テキスト代は自己負担。2月28日までに申し込み。

■茶道文化を学ぶ講座 茶道のもつ広く深い文化を理解し, 日本人の生活, 日本文化の奥行を究める—3月10日から毎月第2日曜日(計10回, いずれも午前10時~12時), 茶道の経験のないかたでも結構です。講師は乗福寺住職五十部修造氏ほか。受講料月300円。2月28日までに申し込み。

こちろう 市役所

あなたの家でもし
火事になったら

出演 市消防本部予防課長補佐 浜岡貞雄

放送 二月二十八日(木)
午前七時十分、十一時三十分、テレビ山口(38・49CH)から